

■研究推進委員会 2022年度 活動報告書

提出日：2023年3月31日

名 称	都市公園リノベーション計画技法研究推進委員会
委員長 幹 事	平田富士男（兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科） 平松玲治（一般財団法人公園財団） 連絡先（e-mail アドレス）：reiji-hiramatu@prfj.or.jp
その他 構成員	今西良共（岐阜国際園芸アカデミー）、折原夏志（都市再生機構）、金清典広 （高野ランドスケーププランニング（株））、川尻幸由（（株）エイト日本技術開発）、後藤 幸（岩間造園（株））、佐藤留美（NPO birth）、新保奈穂美（兵庫県立大学）、曾根直幸（国土交通省）、竹内智子（千葉大学）、橋 俊光（（株）空間創研）、塚田伸也（前橋市）、徳永 哲（東京大学）、萩野一彦（（株）ランドプランニング）、別所 力（James Corner Field Operations）、町田 誠（（一財）公園財団）、米田 剛行（東京都）、脇坂隆一（（一社）2027年国際園芸博覧会協会）
今年度 活動報告 成果	<p>研究会の活動としては、構成員（委員）等が参加するオンライン会議を年間10回行うとともに、2022年度の造園学会全国大会においてミニフォーラム「都市公園リノベーションの計画技法の体系はいかにあるべきか」を開催した。</p> <p>オンライン会議では、都市公園のリノベーション事業の優良事例の収集とその担当者から事業内容のヒアリングを行うとともに、それらの結果を踏まえ、委員等から今後の都市公園のリノベーション事業のあり方についての話題提供とそれに基づく意見交換を継続的に行った。また、優良事例とその議論内容を図書にまとめるべく、図書の構成と各章の執筆分担を決めて執筆に入り、オンライン会議で進捗を確認した。さらに、2023年度全国大会におけるミニフォーラムプログラム内容について検討を行った。この結果、委員会として出版する図書の構成が固まり、原稿もほぼ完成した。</p> <p>また、2023年度に開催するミニフォーラムでは、その図書の構成をベースとして、今後の都市公園リノベーション事業のあり方を参加会員に提示し、意見交換を行うことで、計画技法に関する内容をさらに深める。</p> <p>企画した図書については、2023年5月ごろをめどに刊行させるべく、引き続き作業を進めて行く。</p>